

本学ホームページ連載「摂南タイムズ」を配信

薬学部・八木 晴也助教

バイオ医薬を点鼻薬や点眼薬にして患者の負担軽減を

摂南大学（学長：久保康之）は本学の教育・研究・学生支援を紹介するホームページの WEB マガジン「摂南タイムズ」に本日、新たな記事を配信しました。今回は薬学科 八木晴也助教の「ドラッグデリバリーシステム（DDS）」に関する研究を紹介しています。

1. 教 員：八木 晴也 助教
2. 所 属：薬学部薬学科
3. タイトル：バイオ医薬を点鼻薬や点眼薬にして患者の負担軽減を
4. U R L：<https://www.setsunan.ac.jp/times/detail/46>

バイオ医薬を注射から解放するプラットフォーム技術を確立



八木助教

【概要】

薬は体内に吸収されなかったり、正常な組織に副作用を引き起こしたりすることがあります。そこで、薬の性質や体内での移動を適切に制御し、狙った場所に必要な量だけの薬を届けようという技術が DDS です。DDS によって薬の吸収や作用する場所をコントロールすることで、副作用や患者の負担を軽減し、より安全で効果的な治療につなげることを目指します。

八木助教は、近年注射剤として実用化の進んでいるバイオ医薬に着目し、注射を使わずに患者の負担の少ない点鼻薬のような投与を可能にするための DDS 研究を行っています。細胞内に取り込まれやすい特殊なペプチドと、体内にも存在するような安全性の高い高分子を組み合わせた「膜透過ペプチド固定化高分子」を独自の吸収促進剤として開発し、これをバイオ医薬と混合することで鼻などの粘膜から体内への吸収を飛躍的に促進できることを確認しました。

なお、八木助教は本研究を 8 月 27 日～28 日に東京ビッグサイトで開催される「大学見本市 2026～イノベーション・ジャパン」（主催：国立研究開発法人科学技術振興機構；JST）に出展します。タイトル「注射に代わる、負担の少ない治療を目指す新技術」（ブース番号：H-081）

WEB マガジン「摂南タイムズ」<https://www.setsunan.ac.jp/times/>

- 本学の教育や研究、学生支援を定期的に紹介
- 高校生の進路選択に役立ててもらえるよう、専門的な内容をかみくだいて表現

■内容に関するお問い合わせ先

摂南大学 薬学部薬学科 助教 八木晴也 TEL:072-807-6048

■本件発信部署・取材のお申し込み先

学校法人常翔学園 広報企画課（担当：石村、長谷川） TEL:06-6954-4026

Koho[at]josho.ac.jp

※メールアドレスの[at]は@に変換してください。